

一般社団法人日本粘土学会 2019 年度第 2 回常務委員会議事録

日 時：2019 年 1 月 26 日（土）13:00～15:00

会 場：(株) 国際文献社パブリッシングセンター 8 階会議室

出席者：常務委員(13 名)：山崎淳司、河野元治、中川昌治、佐藤 努、伊藤健一、蛭名武雄、小口  
千明、鈴木正哉、田村堅志、手束聡子、日比野俊行、横山信吾、鈴木憲子

委任状提出常務委員(1 名)：川俣 純

監事(2 名)：月村勝宏、志々目正高

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 14 名の過半数 8 名

出席常務委員 13 名、委任状提出常務委員 1 名、合計 14 名で常務委員会の開催は成立

会議に先立ち佐藤常務委員長より年度の表記は西暦に変更することが報告された。

### 審議事項

#### 1. 2019 年度事業中間報告（資料 1）

##### (1) 学術雑誌の編集と発行

1) 粘土科学：日比野編集委員長より資料をもとに報告された。

2) Clay Science：蛭名編集委員長より資料をもとに報告された。

##### (2) 研究発表会・見学会等の開催

1) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の開催：山崎実行委員長から資料をもとに、講演数、参加登録者数、懇親会参加者数などが報告された。

2) 第 63 回粘土科学討論会（埼玉大学）の準備：小口実行委員長より資料（別途配布）をもとに準備の進捗状況が報告された。詳細については後述となった。

##### (3) シンポジウム・セミナーの開催

田村企画委員長より資料をもとに第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム報告と、第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備状況が報告された。

##### (4) 参考粘土試料

鈴木参考粘土試料委員長より資料をもとに説明があった。また資料を作成後にディッカイト、パイロフィライトの注文があったことが報告された。

##### (5) 広報

横山広報委員長より資料の報告に加えて、各賞候補者募集および第 63 回粘土科学討論会のテストページが完成しており、1 月 28 日（月）には公開予定であることが報告された。

##### (6) 渉外

佐藤常務委員長より資料の説明に加えて、2024 年開催予定の Asian Clay/米国 CMS 合同会議の組織委員として佐藤努会員、川俣純会員、亀島欣一会員、鈴木憲子会員を推薦したことが報告された。

##### (7) 表彰

佐藤常務委員長より資料をもとに報告がされた。

##### (8) 研究促進

山崎会長より現在活動中の研究グループについて報告があった。

##### (9) 庶務

1) 他学会等との連絡・協力

小口庶務委員より日本地球惑星科学連合に関連する事項が報告された。

2) 関連学協会との共催・協賛

手束庶務委員から資料をもとに報告があった。

3) 会員動向

手束庶務委員から資料をもとに報告があった。

(10) 学会誌等の電子化推進

佐藤常務委員長より資料をもとに説明があった。また問題があったので後の理事会で説明と提案をすることとした。

(11) 常務委員会及び理事会

山崎会長より資料にもとづき報告がされた。

以上、審議の上承認された。

2. 2019 年度会計中間報告（資料 2）

伊藤会計委員より資料に基づき報告された。収入の部-会費収入-賛助会員会費収入の備考欄を以下の様に訂正をした。

当年度 40,000 円×6 社を 7 社、20,000 円×13 社を 12 社、  
過年度分 40,000 円×1 20,000 円×2

バナー広告は 4 月から 3 月までなのでまだ入金されていない。学会誌出版事業費について、現在発行している会誌の J-STAGE 登録は印刷製本費に含まれており、計上されている J-STAGE 登録費は電子化の時に漏れがあった場合の費用であるとの説明があった。これに対して電子媒体を作成するまでが印刷製本費であり、J-STAGE 登録費は別にする必要があるとの指摘があり訂正することとした。また参考粘土試料平成 31 年度収支決算書（中間）の支出の部から「広告料 討論会」を削除することとした。学術振興積立金平成 31 年度決算書（中間）の数字を 4 カ所訂正（774,664 を 774,666、674,664 を 674,666）した。

貸借対照表において固定負債としていた学術振興積立金引当金は固定資産に移動させた。また未収金は別刷り代金と Clay Science の掲載料（海外からの投稿）であり、会費未納者による投稿をどうするかとともに掲載料の徴収方法を編集委員会で議論して欲しいと要請された。以上、審議の上承認された。

3. 会費滞納者への対応に関する報告および審議（資料 3、4）

伊藤会計委員より資料をもとに報告があった。今回は審議というよりも情報を共有してもらいたいとの事であった。

4. 学会誌送付費用の上昇に関する報告および審議（資料 5）

伊藤会計委員より資料をもとに報告があった。できうる限りの努力はするが、最終的には会費の改定もやむを得ないとの意見があった。

5. 粘土科学に関しての規定類修正について（資料 6）

日比野粘土科学編集委員長より資料をもとに説明があった。討議の結果、以下の案を理事会に送ることとなった。

- (1) 執筆依頼原稿での掲載料は免除も可とするが、カラーチャージは別途とし、依頼の時にその旨を通知する。

- (2) 執筆依頼原稿の場合は、会員以外も可とする。
- (3) 刷り上がり 10 ページ超の長い原稿を抑制するため、後述の 2 段階掲載料体系とする。
- (4) 投稿方法についてはセキュリティの注意喚起を要領に明記し、電子ファイルを保存した記録媒体を郵送でも受け付けることとする。
- (5) 予算の都合上、掲載予定巻号の通知が難しいことがあるが（要領では通知するとなっている）、都合で知りたいという投稿者も過去にいたことから、適宜運用で対処する。

この他、掲載料についての提案があり、「10 ページまでは 5,000 円／頁、11 ページから 7,500 円／頁」とすることが提案された。Clay Science も同額とすることが提案された。また色紙使用の廃止、申請書の削除で予算軽減をしてはどうかとの提案がされた。現在、粘土科学誌の目次裏のページに「ホームページのご案内」があり、余白の部分に各種申請書も掲載されている旨をお知らせしてはどうかという意見が出された。

#### 6. 粘土科学討論会講演要旨の J-STAGE 登録について

佐藤常務委員長より、すでに J-STAGE に登録済の第 62 回粘土科学討論会要旨の掲載取り下げ依頼があったことが報告された。J-STAGE は再掲載を約束した「停止」はできるが取り下げはできないので注意が必要であることが説明された。山崎討論会実行委員長より事前に J-STAGE 登録をすることの可否を確認しており、登録をしなかった発表者もいたことが報告された。今後は数度に渡り注意喚起をする必要があることが確認された。

#### 7. 「ダイバーシティ推進」に関するアンケート（資料 7）

手委委員より資料にもとづきアンケートの結果・解析が説明された。アンケートの結果を踏まえ本企画を本年度粘土科学討論会で開催することが報告された。また、実施後にアンケートを実施することが承認された。

#### 8. 粘土科学討論会

##### (1) 第 62 回粘土科学討論会会計報告（資料 8）

山崎行事委員から資料をもとに報告があった。

##### (2) 第 63 回粘土科学討論会について

###### 1) 第 63 回粘土科学討論会実施計画

小口実行委員長より資料（別配布）をもとに説明があった。特別企画の素案について説明があり、山崎会長、佐藤常務委員長にも役割の要請があった。また巡検についての 2 つの案から選んで欲しいとのお願いがあった。

###### 2) 第 63 回粘土科学討論会シンポジウム実施計画

田村企画委員長より現在 5 名の講演者に依頼している旨報告された。また今回は特別企画で総合討論をするので、講演のみとすることとした。

###### 3) 第 64 回粘土科学討論会について

佐藤常務委員長より非公式ではあるが、岡田会員から信州大学での開催を了承されたとの報告があった。

以上、審議の上承認された。

#### 9. その他

ホームページの Q&A について、理事会で審議することとした。

報告事項

1. 会員に対する有益情報の配信について

本件については会長および常務委員長の承認を得て事務局から配信していることが報告された。

2. その他

特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

2019年1月30日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 佐藤 努 ⑩

監 事 月村勝宏 ⑩

監 事 志々目 正高 ⑩